

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

平成28年6月29日

都道府県知事
(市長)

殿

提出者 大/保
 住所 豊後大野市大飼町柴268-1
 氏名 (有)小手川豚トン 代表取締役 小川 輝南
 (法人にあつては、名称及び代表者の氏名)
 電話番号 (097) 579-7935

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	有限会社 小手川豚トン
事業場の所在地	大/県豊後大野市大飼町柴268-1
計画期間	平成27年4月1日～平成28年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
①事業の種類	農業
②事業の規模	豚 800頭
③従業員数	2人
④産業廃棄物の一連の処理の工程	・ 糞物のふん尿 全て堆肥化 ・ 糞物の死がい 処理業者へ委託処理

(日本工業規格 A列4番)



産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

代表者 (廃棄物統括責任者)

廃棄物処理方針の決定・承認

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

	【前年度 (年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
①現状	排出量	動物のふん尿 1,000 t
		動物の死骸 0.8 t
	(これまでに実施した取組) 特になし	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	排出量	動物のふん尿 900 t
		動物の死骸 0.8 t
(今後実施する予定の取組) なし		

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) なし

(第3面)

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度 (平成26年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	重機物のふん尿 重機物の石灰
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	1,000 t 0 t
	(これまでに実施した取組) 堆肥化	
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	重機物のふん尿 重機物の石灰
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	900 t 0.8 t
	(今後実施する予定の取組) TJL	

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度 (平成26年度) 実績】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t t
(これまでに実施した取組) TJL		
②計画	【目標】	
	産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t t
(今後実施する予定の取組) TJL		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状	【前年度 (年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組) Tよし		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組) Tよし		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度 (平成26年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類	車カチの死体カイ	
	全処理委託量	1 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	1 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組) ・ふん尿は全て堆肥化 ・車カチの死体カイは全て処理業者への委託処理		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	車や物のゴミ	
	全処理委託量	0.8 t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	0.8 t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
今後モ処理業者へ委託可。			
※事務処理欄			